

さいたま市立大原中学校 学校だより



新しき光



さいたま市立大原中学校

TEL 048-831-5397 FAX 048-835-1357

WEB <https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

第1号

校訓「歴史を拓く」 学校教育目標「はつらつとした生徒、地域に輝く学校」

令和7年4月8日発行

Brand new Smile !

校長 越智 宏明

満開の桜とともに令和7年度が幕を開けました！

保護者並びに地域の皆様には、昨年度中は大原中学校の教育活動に対し、たくさんのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。本校は今年度も、生徒主体による「未来創造」型の教育活動を推進していく所存ですので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

さて、昨年度の大原中学校は、生徒発信により、たくさんの改革が行われた、正に歴史的な一年になったと思います。中でも大きなこととして挙げられるのは、生徒による「未来創造プロジェクト」で令和8年度採用の新制服が決定したことではないでしょうか？またそれに伴い、令和7年度からのバッグ自由化やポロシャツ、長袖体育着の導入など思い切った変更が行われることとなりました。ここに至るまで生徒たちは多くの時間を使って話し合い、提案を重ね、実現を目指してきました。その生徒たちが捲いた種が今年度から少しずつ花を咲かせようとしています。今後はその花が安定して咲き続けるよう、「未来創造プロジェクト」の進化、深化、真化が求められることでしょう。

先程、「未来創造」型の教育活動と申し上げましたが、これからの時代を生きていく子どもたちには、既存の常識に捉われず、全く新しい価値観をもって時代を見つめ、これからどのような力が求められるのか、そのために自分はどういう力を身に付けなければならないのかということを中心に考えていく必要があると思います。2015年に野村総合研究所とイギリスのオックスフォード大学が共同で行った研究によると、今後2035年までに日本の全労働人口の約49%がAIやロボットなどの人工知能に置き換わると予測されています。一方で「創造的思考」を必要とする分野だけは、今後もAIに置き換わることはないとも言われています。つまり、これからの未来を切り拓くカギは前例踏襲型ではなく、「0から1を創り出す」創造型の生き方であるといえるでしょう。

そこで今年度、大原中学校は、学校のスローガンを「Brand new Smile ! (全く新しい微笑み)」とさせていただきます。これは、今までの常識に捉われず自分だけの喜びや価値を見出していくこと、そしてそのための教育的支援を全力で行っていくという、我々教職員の決意を表した言葉です。そのため、教職員も常識に捉われない生徒主体となる授業改善を図っていく所存です。

昨年度の始業式で生徒たちに、「いつでも校長室へ遊びにきてください」と呼び掛けたところ、その日から連日多くの生徒が校長室へ来てくれるようになりました。校長室前に張り出したクイズは、数えてみれば一年間で106問になりました。大原中の生徒たちは素直な中にもおおらかで明るく、とことん応援してあげたい子ばかりです。この生徒たちの素直な笑顔がいつまでも輝き続けるよう、学校と家庭、地域がスクラムを組んで見守り、励まし、伸ばしていきたいと考えています。子どもたちの可能性は無敵大です。「これからどんなことでも出来る」という思いを込め、今年度も全力で子どもたちの中に入っていきたく、校舎を包み込むような桜を見ながら決意を新たにしているところです。



今年度も部活動が終わった剣道部の生徒たちが早速遊びに来てくれました。校長室の前で肖像画と一緒にパチリ！